

タイトル	2025 年度 学校推薦型選抜 共同教育学部技術専攻 小論文・面接
評価のポイント	小論文解答例 現在、製造業における働き手不足が大きな社会問題となっている。特に、機械工学に関連する分野では、熟練した技術者の不足が深刻である。技術革新が進む中、製造業はますます高度な技術を求めているが、それに対応できる若い世代の技術者が不足しているため、生産現場では人手が足りず、生産性の低下や技術の継承問題が起きている。 製造業の働き手不足の解決には、自動化技術やロボット技術を導入することが大いに役立つと考えられる。私は高校で、これらの技術がどのように製造業の現場で活用されているのかを学び、特に自動化が人手不足を補う有効な手段であると実感した。 具体的には、私が高校の授業で学んだ CAD や CAM の技術を活用すれば、設計から製造までの工程を効率化することができる。CAD ソフトで部品を設計し、そのデータを CAM を通じて自動的に機械に送信することで、少ない人手でも高精度の部品を大量生産することが可能である。さらに、プログラミングとロボット技術を活用すれば、組み立て作業や検査作業の自動化が進み、人手不足を補いながら高品質な製品を生産できる。これにより、製造業の生産性を向上させ、働き手不足の解決に繋がる。 中学校の技術科ではプログラミングやロボットを学ぶことができる。私は、これらの技術を子どもたちが実際に手を動かして作品を作り上げて学ぶ体験を通じて教え、「ものづくり」の面白さを伝えていきたい。 小論文・採点のポイント 1. 社会の課題に関心を持っていること 2. 自分自身の専門知識や技能の観点から社会的課題の解消に至る筋道を記述していること 3. 大学卒業後、教職に就く意志が読み取れること 面接・評価のポイント 1. 大学卒業後、教師になる強い意志を示したか 2. 工業高校で取り組んだ学習や取り組みを具体的に答えられたか 3. 大学での目標を明確に答えられたか